資料1

平成29年度公立高等学校入学者選抜について

●入試制度の主な変更点に関しての整理

〇第１志望校のみの出願にしたこと
〇松江北、松江南、松江東の普通科について、通学区外からの合格者数の上限を５%から２０%に拡大したこと
〇出願後に１回に限り志願変更を認めたこと

↓

・中学校からは、受検生が出願校を決めるにあたり積極的に高校見学に参加するなど、今まで以上に熟慮して決定する傾向が強まったという意見を聞いており、受検生の主体的な進路選択に繋がっているのではないか。
・一方で高校側においては、各高校の特色や求める生徒像等の「自校の魅力」を受検生やその保護者等に発信することの重要性が認識されたのではないか。
・松江北、松江南の理数科の出願者が減少したことについては、制度改革の初年度ということもあり、受検生側の学校選択が慎重になりがちであったことが考えられる。
・志願変更については、結果として６４名の受検生が利用し、一定の成果があったと考える。